

瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウムの報告について

1. 開催日時 平成25年11月16日(土) 午後1時30分～4時

2. 開催場所 瀬谷公会堂

3. 内容

(1) 基調講演

講師：横浜市まちづくりコーディネーター 山路 清貴 氏
テーマ：「地域での関係づくりのコツ」

(2) 取り組み事例紹介（事例発表地区）

①瀬谷第一地区

「瀬谷第一区の見守り活動」

発表者：瀬谷第一地区社会福祉協議会
会長 竹内 六郎氏

②南瀬谷地区

「あいさつ いっぱい みなみせや」

発表者：南瀬谷地区社会福祉協議会
事務局長 森谷 薫氏

③阿久和北部地区

「阿久和北部見守り合い拠点大きな傘・みまもり広場『みまもりの家』建設」

発表者：阿久和北部地区社会福祉協議会
会長 清水 靖枝氏

④パネルディスカッション

⑤その他（公会堂ホワイエにて）

- ・瀬谷区内12地区の地区別計画のパネル展示
- ・瀬谷区内地域作業所自主製品販売

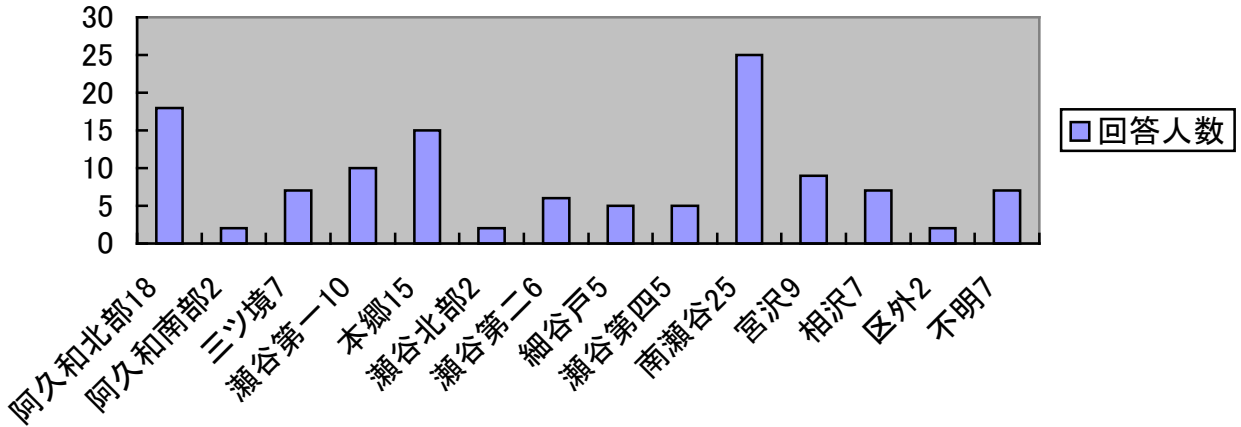
4. 参加者数（参加者総数） 約300名



5. アンケート結果

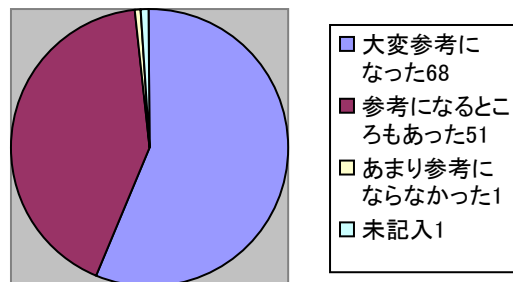
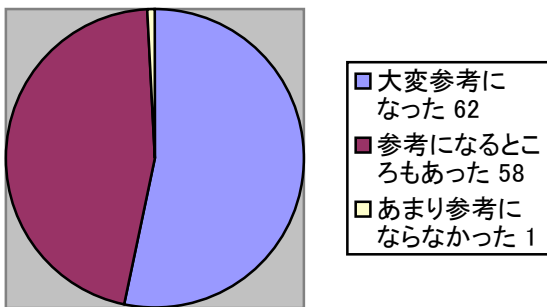
回答数121名

・居住地区



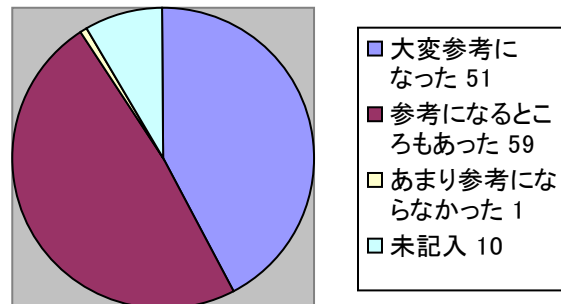
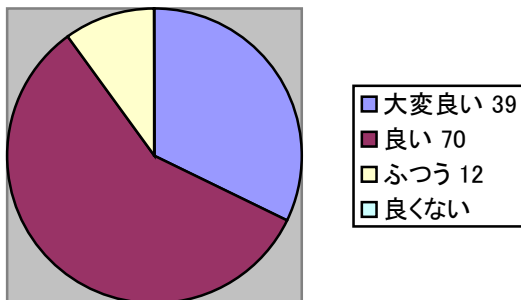
(1) 基調講演の内容はいかがでしたか。

(2) 3地区の取組発表の内容はいかがでしたか。



(3) 各地区の地区別計画のパネル展示はいかがでしたか。

(4) パネルディスカッションの内容はいかがでしたか。



(5) 本日のシンポジウム全体を通してお気づきのことや感想がありましたらご記入ください。

- もっと多くの人に参加できるよう広報活動は必要ではないか。
- 顔の見える関係づくりは「みんな」がキーワードであることが分かった。
- 楽しく無理なく長く続ける助け合いは大事。これからもあいさつをして関係づくりをしていきたい。
- 地域のみまもり活動に関して民生委員だけとか地区社協のみまもりとか老人会とか別活動しているが、一緒にならないかと地域の方から言われたところだったので、とても参考になった。
- 連合自治会と地区社協は車の両輪であると思いつく思い知らされた。
- 地域でアイデアを出し合い、それぞれの地域のカラーで災害に対して活動している。素晴らしい会合でした。
- 「みんなでやる」「長くやる」再確認しました。
- 多くの地区では担い手不足に悩み、苦勞しているのではないか。その解決策が見いだせないでいる。